

概要版

第2期舟橋村総合戦略

令和3年3月

舟橋村

1. 第2期総合戦略のコンセプト

第2期総合戦略のコンセプト及び施策の体系に関しては、第1期総合戦略における『「子育て共助」による地方創生！』が順調にスタートしていることから、さらなる発展を目指す内容とする。

これまでの「子育て共助」をさらに深化させることにより、若い世代の転入、高い出生率の維持を進める。

第2期総合戦略のコンセプト

子育て共助のまちづくり「舟橋型子育て支援」の深化

子育て世代に選ばれるまち。私と家族の“いいね！”いっぱいのもち。もうひとり育てたくなるまち。

第2期総合戦略のポイント

- (1)「繋がる安心感」と「関わる楽しさ」を醸成し、ゆるいコミュニティを魅力としたまちづくりを目指します。
- (2)自己実現と家族のしあわせの両立が叶う場(=機会)を創出し、私と家族の「いま」にちょうどいい暮らしを提案します。
- (3)第二創業支援や個人のライフスタイルに合わせた小さなビジネス支援など、多様な魅力ある仕事づくりを推進します。

第1期総合戦略の成果

第1期総合戦略では、モデルエリアを設定し“空間の使いこなし”、“使う人のつながり”を進めることにより、子育て世代の転入促進と出生率向上につながった。

主要な事業は、舟橋村地域優良賃貸住宅（リラフォートふなはし）の整備、舟橋村コミュニティアプリの提供、子育て支援センターぶらんこによる村内外の子育て支援、オレンジパークによる園むすびプロジェクト（月イチ園むすび）であり、交流・参加型の事業が子育ての楽しさにつながり、育児・共助が進み、定住・転入意向が向上したことが確認されている。

また、5年間における子育て世帯の転入は172世帯（目標40世帯）を達成し、出生率は1.86（R1）と高い水準に達している。

第2期総合戦略のコンセプト

第1期総合戦略の考え方を継続し、「子育て共助のまちづくり「舟橋型子育て支援」の深化」を目指す。

公園を拠点とした子育て共助のまちづくりを推進することにより、「繋がる安心感」と「関わる楽しさ」の醸成や、ゆるやかなコミュニティを魅力としたまちづくりを進めるとともに、各種活動を通じ参加者の「自己実現」と「家族のしあわせ」が叶う場(=機会)の創出を図り、暮らしの満足感を高める。

さらには、ライフスタイルに合わせた小さなビジネス支援など、多様な魅力ある仕事づくりを推進することにより、「子育て世代に選ばれるまち」、「私と家族の“いいね！”いっぱいのもち」、「もうひとり育てたくなるまち」を実現する。

コンセプト

子育て共助のまちづくり「舟橋型子育て支援」の深化

横断的な視点

公園を拠点とした子育て共助のまちづくりで人口減少を歯止めする

分野横断的に展開することで地域課題を解決

基本目標	基本的方向									
<p>【基本目標1】</p> <p>”すまう”を応援</p> <p>≪数値目標≫転入世帯数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>172世帯(H27~R1)</td> <td>20世帯(R3~R7)</td> </tr> </tbody> </table>	実績	目標	172世帯(H27~R1)	20世帯(R3~R7)	<p>村の人口構造を維持するため、移住・定住を促進します</p> <p>基本的方向(1)「子育ての村 舟橋」の全国発信 舟橋村が「子育ての村」として広く認知されるよう、村外への情報発信に努めるとともに、取り組みに関心を持つ自治体や学生等の視察に応じ、全国発信に努めます。</p> <p>基本的方向(2)子育て世帯の受け皿となる住宅供給 子育て世代の移住・定住を受け入れるため、持続可能なまちづくりを目指しながら住宅供給に努めます。</p>	<p>施策① メディアの活用による情報発信 施策② 視察対応等による「村の取り組み」のPR</p> <p>施策① 子育てコミュニティの情報発信 施策② 空き家の活用による移住促進 施策③ 子育て世帯と賃貸物件のマッチング</p>				
実績	目標									
172世帯(H27~R1)	20世帯(R3~R7)									
<p>【基本目標2】</p> <p>”うまれる、そだつ”を応援</p> <p>≪数値目標≫合計特殊出生率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.82(H27~R1)</td> <td>1.79(R3~R7)</td> </tr> </tbody> </table> <p>≪数値目標≫出生者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>139人(H27~R1)</td> <td>150人(R3~R7)</td> </tr> </tbody> </table>	実績	目標	1.82(H27~R1)	1.79(R3~R7)	実績	目標	139人(H27~R1)	150人(R3~R7)	<p>他の自治体との人口の奪い合いに終始せず、舟橋型子育て支援の深化により、出生率・出生数の向上を目指します</p> <p>基本的方向(1)子育て支援環境の充実 出産から子育て期にかけて切れ目のない支援を行うことで、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努めます。</p> <p>基本的方向(2)「つながる安心感」・「関わる楽しさ」の提供 舟橋型子育て支援により子育て期の親子に「繋がる安心感」と「関わる楽しさ」を提供し、“ひとりでがんばらなくていい”子育てを実現するとともに、二人目・三人目の子育てをポジティブに思い描けるようサポートに努めます。</p>	<p>施策① 家族単位の実情に応じた子育て支援</p> <p>施策① 子育て支援センターの運営 施策② 連続的な子育て支援 施策③ パークマネジメントによる子育て共助の推進 施策④ ICTを活用した舟橋型(子育て)人材の発掘・育成</p>
実績	目標									
1.82(H27~R1)	1.79(R3~R7)									
実績	目標									
139人(H27~R1)	150人(R3~R7)									
<p>【基本目標3】</p> <p>”はたらく”を応援</p> <p>≪数値目標≫事業者・起業家数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>5人(R3~R7)</td> </tr> </tbody> </table>	実績	目標	—	5人(R3~R7)	<p>住まう人々の”豊かな暮らし”を実現するために、魅力ある新しいしごとづくりに努めます</p> <p>基本的方向(1)農業の活性化 村の基幹産業である農業を”盛り上げる”ため、地元野菜の直販や農産加工品の商品開発・販路拡大に努めます。</p> <p>基本的方向(2)子育てママの新しい働き方の提案 子育ての中心である母親の自己実現と家族のしあわせの両立をサポートするため、家族の暮らしにあった働き方、魅力ある新しい働き方をモデル化します。</p>	<p>施策① 月イチひるいちの開催</p> <p>施策① 月イチばざーの開催 施策② 起業家向け勉強会の開催</p>				
実績	目標									
—	5人(R3~R7)									
<p>【基本目標4】</p> <p>”たのしむ”を応援</p> <p>≪数値目標≫主体的参加者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>50人(R3~R7)</td> </tr> </tbody> </table>	実績	目標	—	50人(R3~R7)	<p>「舟橋村での暮らし、ちょっといいかも」と家族が感じられるような、村での暮らしを豊かにし、村での暮らしを楽しむための取り組みを支援します 村に住まう人たちが地域に関わるなかで「舟橋村に住んでよかった」「舟橋村の住民でよかった」と実感し、シビックプライドが醸成されるように努めます</p> <p>基本的方向(1)住民参加型イベントの開催 村に住まう人たちが主役となって活躍する場(=機会)づくりに努めます。</p> <p>基本的方向(2)家族で休日を楽しめる場の創出 身近な場所で家族そろっての休日を楽しめる場(=機会)づくりに努めます。</p> <p>基本的方向(3)多世代コミュニティの形成に向けた取り組みの推進 村に住まう人たちが世代を超えて関わり合う場(=機会)づくりに努めるとともに、主体的に関わるきっかけづくりに努めます。</p>	<p>施策① 月イチむらふえすの開催</p> <p>施策① 家族で休日を楽しめる身近な公園づくり</p> <p>施策① 多世代コミュニティの形成</p>				
実績	目標									
—	50人(R3~R7)									

第2期 舟橋村総合戦略の重点的な取り組み

R3~R7年度

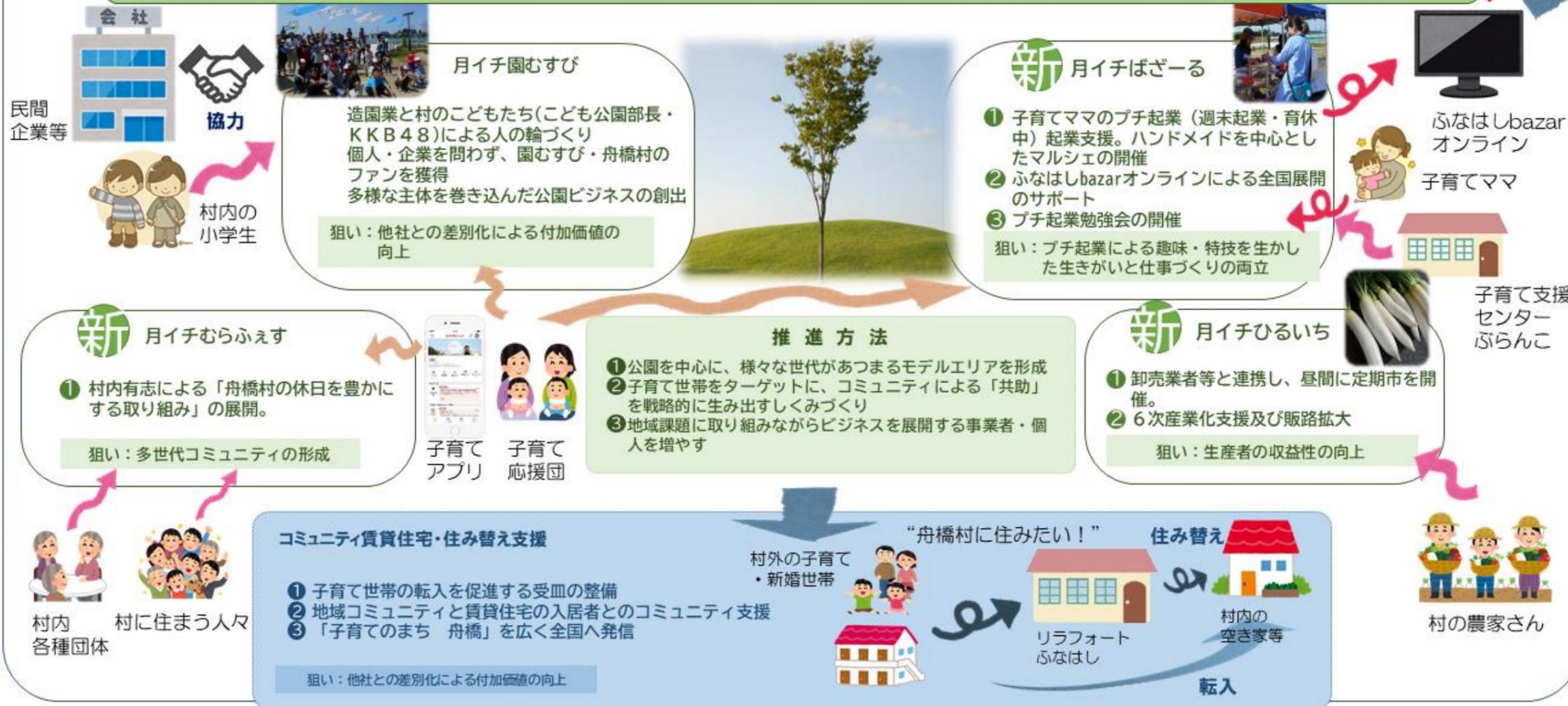
日本一小さな村の挑戦！ 「転入」から「出生」へ 「出生」にこだわる子育て共助のまちづくり

<p>■転入 子育て世帯の転入 20世帯 / 5年間</p>	<p>■出生 合計特殊出生率 1.79 / 5年間平均 出生者数 150人 / 5年間</p>	<p>■しごとづくり 地域課題に取り組みながらビジネスを展開する事業者・起業者数 5人・団体 / 5年間</p>
--	---	--

■コンセプト
子育て共助のまちづくり「舟橋型子育て支援」の深化
子育て世代に選ばれるまち。私と家族の“いいね！”いっぱいのまち。もうひとり育てたくなるまち。

■第2期計画のポイント

- 1 「繋がる安心感」と「関わる楽しさ」を醸成し、ゆるいコミュニティを魅力としたまちづくりを目指します。
- 2 自己実現と家族のしあわせの両立が叶う場（=機会）を創出し、私と家族の「いま」にちょうどいい暮らしを提案します。
- 3 第二創業支援や個人のライフスタイルに合わせた小さなビジネス支援など、多様な魅力ある仕事づくりを推進します。



4. 基本目標・具体的施策

基本目標1 “すまう”を応援

村の人口構造を維持するため、移住・定住を促進します。

≪数値目標≫転入世帯数

指 標	現状値	目標値
子育て世代の転入世帯数 (人口構造を維持する転入世帯数を達成する)	172 世帯 (H27～R1)	20 世帯 (R3～7)

基本的方向(1) 「子育ての村・舟橋」の全国発信

施策① メディアの活用による情報発信

- ・「舟橋型子育て支援」「舟橋型まちづくり」をさらに進め、その取り組みについて、村の広報、新聞雑誌、テレビ、ラジオ、フリーペーパー、SNS、その他あらゆるコンテンツで発信していきます。

施策② 視察対応等による「村の取り組み」のPR

- ・全国の自治体視察、大学生の研究、小中高校の学習等に積極的に協力し、村の取り組みをPRします。

基本的方向(2) 子育て世代の受け皿となる住宅供給

施策① 子育てコミュニティの情報発信

- ・子育て支援賃貸住宅リファートふなはしにおけるコミュニティ形成を促進し、その情報発信に努めます。

施策② 空き家の活用による移住促進

- ・むやみに宅地開発を進めるのではなく、50年後の空き家を生まないまちづくりに努め、村内に断続的に生じる空き家を活用し、子育て世代の移住促進を進めます。

施策③ 子育て世帯と賃貸物件のマッチング

- ・子育て共助のまちづくりにより地域の価値を高めることで、村内で民間が所有する賃貸物件に空室を出さず、移住を希望する子育て世代に結び付くよう努めます。

【KPI (重要業績評価指標)】

指標名	単位	現状	目標
(1) 「子育ての村・舟橋」の全国発信			
メディア取扱件数	件	413 件 (H27～R1)	250 件 (R3～R7)
(2) 子育て世代の受け皿となる住宅供給			
定住・村内住み替え件数	件	25 件 (H27～R1)	15 件 (R3～R7)

基本目標2 “うまれる、そだつ”を応援

他の自治体との人口の奪い合いに終始せず、舟橋型子育て支援の深化により、
出生率・出生数の向上を目指します。

《数値目標》合計特殊出生率

指 標	現状値	目標値
合計特殊出生率（高い出生率を維持する）	1.82（H27～R1）	1.79（R3～7）

《数値目標》出生者数

指 標	現状値	目標値
出生者数	139人（H27～R1）	150人（R3～7）

基本的方向(1) 子育て支援環境の充実

施策① 家族単位の実情に応じた子育て支援

- ・子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点の一体的な取り組みにより、家族の姿を面的にとらえ、それぞれの家族に必要な支援へと適切に結び付けます。

基本的方向(2) 「つながる安心感」・「関わる楽しさ」の提供

施策① 子育て支援センターの運営

- ・子育てのスタートをサポートするため、子育て支援センターにおける子育て仲間づくり、関わるきっかけづくりに努めます。

施策② 連続的な子育て支援

- ・保育施設、学校、学童保育室等と連携し、未就園期～未就学期～学童期と、中長期的な子育て支援に取り組みます。

施策③ パークマネジメントによる子育て共助の推進

- ・造園業と村のこどもたち（こども公園部長・KKB48）によるオレンジパークを舞台にした人の輪づくりを継続し、子育て世代の繋がりづくりに努めます。【★月イチ園むすび】

施策④ ICTを活用した舟橋型（子育て）人材の発掘・育成

- ・子育て支援アプリを活用することで、子育て世代同士、子育て世代と地域を繋ぎ、「地域で子どもを育てる」機運を高めます。

【KPI（重要業績評価指標）】

指標名	単位	現状	目標
(2) 「つながる安心感」・「関わる楽しさ」の提供			
こども公園部長・KKB48人数	人	41人（H29～R1）	100人（R3～R7）
園むすび連携団体数	団体	25団体（H27～R1）	30団体（R3～R7）

基本目標3 “はたらく”を応援

住まう人々の”豊かな暮らし”を実現するために、魅力ある新しいしごとづくりに努めます

《数値目標》事業者・起業家数

指 標	現状値	目標値
事業者・起業家数（プチ起業を含む）	—	5人（R3～7）

基本的方向(1) 農業の活性化

施策① 月イチひるいちの開催

- ・オレンジパークにおいて朝市を子育て世帯向きに昼間に開催し、村の農業者支援と地産地消を促進します。【★月イチひるいち】

基本的方向(2) 子育てママの新しい働き方の提案

施策① 月イチばさーの開催

- ・オレンジパークにおいてハンドメイドを中心としたマルシェを開催し、子育てママのプチ起業（週末起業、育児休業中起業）を支援します。【★月イチばさー】

施策② 起業家向け勉強会の開催

- ・「ふなはし Bazar オンライン」の運用により、月イチひるいち・月イチばさーのオンライン販売をサポートするとともに、それぞれの規模に応じた起業に向けた勉強会を運営します。

【K P I（重要業績評価指標）】

指標名	単位	現状	目標
(1) 農業の活性化			
ひるいち参加農業者数	人	—	25人（R3～R7）
(3) 子育てママの新しい働き方の提案			
ばさーの出店者数	人	—	50人（R3～R7）

基本目標4 “たのしむ”を応援

「舟橋村での暮らし、ちょっといいかも」と家族が感じられるような、
村での暮らしを豊かにし、村での暮らしを楽しむための取り組みを支援します

村に住まう人たちが地域に関わるなかで「舟橋村に住んでいてよかった」、
「舟橋村の住民でよかった」と実感し、シビックプライドが醸成されるように努めます

≪数値目標≫主体的参加者数

指 標	現状値	目標値
主体的参加者数（実数）	—	50人（R3～7）

基本的方向(1) 住民参加型イベントの開催

施策① 月イチむらふえすの開催

- ・オレンジパークにおいて、村内各種団体の有志をはじめ、村に住まう人たち誰もが、自分の興味や得意を生かして主体的にイベントに関わることのできる場や機会を創出します。【★月イチむらふえす】

基本的方向(2) 家族で休日を楽しめる場の創出

施策① 家族で休日を楽しめる身近な公園づくり

- ・月イチ園むすび、月イチひるいち、月イチぼごーる、月イチむらふえすの開催により、「私が主役になれる場」を創出すると同時に、「こんなに身近に家族で休日を楽しめる場がある村」を実現します。

基本的方向(3) 多世代コミュニティの形成に向けた取り組みの推進

施策① 多世代コミュニティの形成

- ・異世代が関わり合うことのできる場を意識的に生み出し、村に住まう人たちが地域に関わる機会を創出します。

【K P I（重要業績評価指標）】

指標名	単位	現状	目標
(1) 住民参加型のイベントの開催			
むらふえす開催数	回	—	50回（R3～R7）